



森川 甫 教授

## 森川 甫教授略歴・主要業績

## — 略 歴 —

## 学 歴

- 1954年4月～1958年3月 大阪外国語大学フランス語学科（文学士）  
 1958年4月～1962年3月 大阪大学大学院文学研究科修士課程（文学修士）  
 1962年4月～1963年3月 大阪大学大学院博士課程中退  
 1965年9月～1967年9月 バリ大学文学・人文学部に留学  
 1965年9月～1966年9月 兵庫県海外給費留学生  
 1966年9月～1967年9月 フランス政府給費留学生  
 1966年12月 バリ大学博士学位論文提出候補者名簿に登録される。  
 口頭試問試験官 ジャン・ギットン教授、論文指導教授 アンリ・グイエ教授、1973年以降、ジャン・メナール教授  
 1973年9月～1975年3月 バリ・ソルボンヌ大学（パリ大学IV）に留学 フランス政府給費留学生  
 1990年4月～1991年3月 バリ・ソルボンヌ大学に学院留学  
 1991年6月 大阪大学より学位が授与される（文学博士）  
 1997年4月～1997年9月 フランス、ハンガリー（デブレツェン）に学院留学

## 職 歴

- 1963年4月～1968年3月 関西学院大学社会学部専任講師  
 1968年4月～1975年3月 関西学院大学社会学部助教授  
 1969年4月～1971年3月 社会学部教務副主任  
 1975年4月～現在 関西学院大学社会学部教授  
 1975年4月～1977年3月 社会学部学生主任  
 1977年4月～1979年3月 関西学院広報委員  
 1977年4月～1978年3月 大阪大学文学部および言語文化部兼任講師  
 1978年4月～1979年3月 社会学部教務主任  
 1978年4月～1979年9月 関西学院大学評議員（全学選出）  
 1979年4月～現在 学校法人 頌栄保育学院理事  
 1980年10月～1981年9月 社会学部教務主任  
 1984年4月～1989年3月 関西学院院長補佐  
 1987年4月～1990年3月 関西学院千刈セミナーハウス館長  
 1990年5月～現在 財団法人 国際日本研究所理事  
 1990年6月～1993年5月 学校法人 四国学院評議員  
 1993年4月～1995年3月 関西学院大学文学部大学院文学研究科博士課程前期・後期課程兼任教授（哲学文献研究）  
 1993年5月～現在 学校法人 四国学院キリスト教教育研究所運営委員  
 1997年4月～現在 関西学院大学文学部大学院文学研究科博士課程前期・後期課程兼任教授（哲学史特殊講義）  
 1998年5月～現在 宗教法人 神戸改革派神学校理事  
 2000年7月 九州大学文学部および大学院文学研究科 兼任講師  
 集中講義（フランス古典文学研究史、仏文学特講）

## 学会及び社会における活動等

- 日本フランス語フランス文学会会員  
 日本フランス哲学会会員  
 日本基督教学会会員

Société des Amis de Port-Royal (Paris, France) 会員  
 Centre international BLAISE PASCAL (Clermont-Ferrand, France) 会員  
 Société d'Etude du XVII<sup>e</sup> Siècle (Paris, France) 会員  
 日本基督改革派教会大会議員  
 日本基督改革派教会大会憲法第3委員会委員  
 日本基督改革派教会大会外国教会連絡委員会委員

**免許**

1958年 運輸省通訳案内業試験 (英語) 合格  
 1959年 通訳案内業免許取得 第97号 (兵庫県知事)

**受賞**

1993年 西谷啓治賞 (パスカル研究、財団法人 国際日本研究所)

**他大学への出講**

大阪大学文学部および言語文化部、甲南大学文学部、関西大学、聖和大学、九州大学文学部および同大学院 集中講義

**担当学科目**

**総合教育科目**

- 1) 教養科目、一般教育科目  
 西洋文学 (旧約聖書、ギリシャ神話から始める)  
 教養演習、人文演習 (人間、思索、学問、大学等をテーマとする)
- 2) 言語教育科目  
 フランス語文法、読本、表現論  
 フランス哲学・思想講読演習、フランス芸術・文化講読演習

**専門教育科目**

- 文化論 (ヨーロッパ)  
 比較文化論 (地中海世界と日本)  
**大学院** (博士課程前期課程・後期課程)  
 哲学史特殊講義  
 哲学文献研究

**I-1 著書**

1. 『現代におけるカルヴァンとカルヴィニズム』 (編・著) すぐ書房 1987年10月 カルヴァン研究 262p.
2. *Sengari - Séminaire sur les Pensées de Pascal* (編・著・訳) 関西学院セミナーハウス 1990年3月 パスカル研究 77p.
3. 『フランス・プロテスタント苦難と栄光の歩み—ユグノー戦争、ナント勅令、荒野の教会—』 (単) 日本基督改革派西部中会 聖恵授産所出版部 1999年2月 フランス・プロテスタント史研究 135p.
4. 『パスカル「プロヴァンシアルの手紙」—ポール・ロワイヤル修道院とイエズス会—』 (単) 関西学院大学出版会 2000年3月 パスカル研究。大阪大学に提出し、文学博士の学位を授与された学位論文に加筆、修正した。443p.

## I-2 共著・分担執筆

1. Première Classe du Français  
—Grammaire (共著)  
(新フランス語初等文法) 白水社 1969年2月 フランス語文法
2. Variété - Lecture et grammaire  
—(フランス語初級テキスト)  
(共編) 朝日出版社 1971年4月 フランス語文法・読本
3. 橋本龍三・春名純人編『カル  
ヴァンの信仰と思想』 すぐ書房 1981年6月 「ヴァンデルのカルヴァン研究」  
PP. 73-169.
4. 田辺 保編『パスカル著作集』  
別巻Ⅰ 教文館 1983年9月 「パスカルと西田幾多郎」  
PP. 99-113.
5. 武藤一雄編『キリスト教を学  
ぶ』 世界思想社 1985年10月 「パスカル」 PP. 256-260.
6. 真鍋一史編『世界における日  
本研究—国際交流と国際比較  
の視点から』 関西学院大学 1984年3月 「フランスの日本研究—歴史と  
現状—」 pp. 1-10.  
「ロニの東洋語学校講座開講講  
演」(1863) pp. 144-153.  
「ジャン・ステツェルの国際  
交流論  
『社会科学、人文科学の世界的貸  
借対照表は可能か』pp. 154-162.
7. 『受け継がれた信仰』所収 日本基督教改革派教会 1985年6月 「カルヴァンの人物と業績  
—『新約聖書註解をめぐって—」  
P. 29-61.
8. *Pascal, Port-Royal, Orient, Occi-  
dent* Klincksieck 1991年2月 1988年9月, 東京大学で開催さ  
れたアジア初のポール・ロワ  
イヤル学会研究報告書. *L'influ-  
ence de la pensée pascalienne  
chez un protestant japonais:*  
Koh Yūki pp. 231-236.
9. 『キリスト教と欧米文化』 キリスト教文化学 1997年6月 「恩寵論からみたパスカル」  
会ヨルダン社 pp. 14-36.
10. 宮谷宣史編『性の意味—キリ  
スト教の視点から—』所収 新教出版社 1999年8月 「近世フランス女性の教養への  
アプローチ」  
pp. 238-257.

## I-3 翻訳

1. 『現代キリスト教思想双書第  
12巻』 白水社 1974年8月 「意志と行為」  
(J. Ellul 著 *Le vouloir et le  
faire*)  
フランス社会倫理思想  
(本邦初訳) pp. 7-261.
2. *L'avènement de la sociologie  
moderne au Japon* *Cahier internationaux* 1974年 (蔵内数太著『社会学』1部14  
*de sociologie* vol. LVII 章「日本における社会学の成  
P. U. F. 立」) 日本における社会学の成  
立の特質を国際学界に紹介  
pp. 197-222.
3. 『人間カルヴァン』(Richard  
Stauffer 著 *L'humanité de  
Calvin*) すぐ書房 1976年11月 書幹によるカルヴァン研究  
(本邦初訳) 全133頁
4. カルヴァン『新約聖書註解  
共観福音書』上 新教出版社 1984年3月 カルヴァンの聖書注解(本邦  
初訳) 全531頁

- |    |                      |     |          |   |
|----|----------------------|-----|----------|---|
| 5. | メナール版『パスカル全集』<br>第1巻 | 白水社 | 1993年11月 | 「パスカルの親族についての覚え書き」<br>パスカルの一伝記（本邦初訳）<br>pp. 80-95／全495頁                     |
| 6. | メナール版『パスカル全集』<br>第2巻 | 白水社 | 1994年6月  | 「要約イエス・キリストの生涯」<br>pp. 9-65.<br>「初期のキリスト者と今日のキリスト者の比較」<br>pp. 376-390／全660頁 |

## II. 学術論文

- |     |  |                                     |          |  |
|-----|--|-------------------------------------|----------|--|
| 1.  | Pascal - son idée de la foi dans le discours du pari- (卒業論文)                         | 大阪外国語大学                             | 1958年1月  | パスカル研究                                 |
| 2.  | パスカルの聖書解釈について  | 『フランス文学研究』<br>日本フランス文学会             | 1960年    | パスカル研究                                 |
| 3.  | Lhermet, Pascal et la Bible - le drame historico-théologique-                        | 『フランス文学研究』<br>日本フランス文学会             | 1962年    | パスカル研究                                 |
| 4.  | Etude sur l'Histoire du Salut dans les Pensées de Pascal (修士論文)                      | 大阪大学文学部                             | 1962年1月  | パスカル研究                                 |
| 5.  | パスカルの『パンセ』における預言に関する一考察  | GALLIA (VII)<br>大阪大学文学部             | 1962年3月  | パスカル研究 pp. 35-59.                      |
| 6.  | Jean Calvin の <i>Institution de la Religion chrétienne</i> における人間観-Image de Dieu の意味 | 『フランス語フランス文学研究』<br>日本フランス語フランス文学会   | 1964年    | カルヴァン研究                                |
| 7.  | パスカルの『パンセ』における悪の意味   | 『社会学部紀要』第9・10号<br>関西学院大学社会学部        | 1964年    | パスカル研究 pp. 133-139.                    |
| 8.  | パスカルの「メモリアル」とその信仰(1)   | 『論攷』第12号<br>関西学院大学                  | 1965年    | パスカル研究 pp. 167-179.                    |
| 9.  | La pensée théologique exprimée par le Père Nouet, Jésuite pendant les Provinciales.  | 『フランス研究3』<br>関西学院大学文学部<br>フランス文学研究室 | 1967年11月 | パスカル研究                                 |
| 10. | 『プロヴァンシアル』論争の起源と経過   | 『社会学部紀要』第16号<br>関西学院大学社会学部          | 1968年3月  | パスカル研究 pp. 69-77.                      |
| 11. | アンナ神父『プロヴァンシアル』論争におけるアンティ・ジャンセニスト  | 『論攷』第15号<br>関西学院大学                  | 1968年10月 | パスカル、ジャンセニスト、イエズス会士に関する研究 pp. 179-189. |
| 12. | Sur la théologie biblique dans les Pensées de Pascal.                                | Annual Studies vol. 17<br>関西学院大学    | 1968年11月 | パスカル研究 pp. 39-51.                      |
| 13. | 『プロヴァンシアル』研究—アンティ・ジャンセニスト、スエ神父   | 『論攷』第16号<br>関西学院大学                  | 1969年12月 | パスカル、ジャンセニスト、イエズス会士に関する研究 pp. 139-148. |
| 14. | フランス・キリスト教思想の植村正久への影響  | 『社会学部紀要』第20号<br>関西学院大学社会学部          | 1970年3月  | 比較文学・思想 pp. 19-25.                     |
| 15. | パスカルにおける理性の意味—その限界—  | 『社会学部紀要』第22号<br>関西学院大学社会学部          | 1971年3月  | パスカル研究 pp. 165-169.                    |
| 16. | 西田哲学のパスカルへの共感  | GALLIA<br>大阪大学フランス語フランス文学会          | 1971年8月  | 比較思想 pp. 293-305.                      |

17. Pascal et les penseurs japonais *Annual Studies* vol.20 1971年12月 パスカル研究  
関西学院大学 pp. 21-26.
18. 『プロヴァンシアル』における  
パスカルの恩寵論 『論攷』 1972年  
関西学院大学
19. Le Père Annat anti-janséniste  
dans la querelle des *Provinciales* *Annual Studies* vol.22 1973年12月 パスカル研究  
関西学院大学 pp. 17-21.
20. Les Jésuites devant les *Provinciales*  
de Blaise Pascal *Annual Studies* vol.26 1977年12月 パスカル研究  
関西学院大学 pp. 35-51.  
—Examin des réponses jésuites—
21. ヴァンデルのカルヴァン研究 『社会学部紀要』第35号 1977年12月 カルヴァン研究  
—伝記編— 関西学院大学社会学部 pp. 111-125.
22. Examens des réponses *Annual Studies* vol.27 1978年12月 パスカル研究  
Jésuites aux *Lettres Provinciales*  
de Blaise Pascal 関西学院大学
23. ジャン・ステッツエルの国際 『社会学部紀要』第39号 1979年12月 比較文化論研究  
交流論「社会科学、人文科学 関西学院大学社会学部 pp. 139-147.  
の世界的貸借対照表は可能  
か」
24. 『厚生新篇』の原著者、ノエル  
・ショメルについて 『社会学部紀要』第40号 1980年3月 比較文化論研究  
関西学院大学社会学部 pp. 611-621.
25. 恩寵論からみたパスカルの宗 『理想』 1981年7月 パスカル研究  
教思想 理想社 pp. 81-92.
26. 修業時代のジャン・カルヴァ 『流域』 1982年6月 カルヴァン研究  
ンとパリ 青山社
27. Noël Chomel, auteur de *Kōsei-* *Annual Studies* vol.31 1982年12月 比較文化論研究  
*shinpen*, *Dictionnaire éco-* 関西学院大学 pp. 107-111.  
*nomique*
28. フランスの日本研究—歴史と 『社会学部紀要』第46号 1983年3月 比較文化論  
現状— 関西学院大学社会学部 pp. 39-49.
29. カルヴィニストとジェズイット *GALLIA* 1983年3月 カルヴィニスト、イエズス会  
トの論争—パスカルの『プロ 大阪大学フランス 士、パスカル研究  
ヴァンシアルの手紙』に對す 語フランス文学会 pp. 325-331.  
するヌエ神父の反駁文書に關連  
して—
30. ロニの東洋語学校日本語講座 『社会学部紀要』第47号 1983年12月 比較文化論  
開講講演 (1863年) 関西学院大学社会学部 pp. 19-28.
31. カルヴァンの生涯における『新 『論攷』 第55号 1984年3月 カルヴァン研究  
約聖書註解』 関西学院大学 pp. 17-44.
32. カルヴァンの表現の一断面 『新教』1984年春季号 1984年6月 カルヴァン研究  
『新約聖書註解・共観福音書』 新教出版社 pp. 23-26.  
上を翻訳して
33. 『ジュネーヴ詩編歌の成立』 『ヨーロッパ文化 1988年3月 カルヴァン研究  
研究』 第17号 pp. 47-59.  
関西学院大学
34. 恩寵論からみたパスカルの 『キリスト教文化 1990年3月 パスカル研究  
『パンセ』』 学会報』 pp. 17-29.  
キリスト教文化学会
35. L'influence de la pensée pas- 『社会学部紀要』第62号 1990年3月 パスカル研究  
calienne chez un protestant 関西学院大学社会学部 pp. 13-18.  
japonais. Koh Yūki

36. 『プロヴァンシアルの手紙』—  
ジェズイットに対するブレー  
ズ・パスカル— (博士論文) 大阪大学 1990年11月 パスカルの『プロヴァンシアル』  
研究  
第1章『プロヴァンシアル』論争  
第2章『プロヴァンシアルの手  
紙』の表現  
第3章 パスカルの恩寵論  
全307頁
37. *Les Annae Litterae Prouincia*  
*Franciae Ad annum Christum*  
1656—パスカルの『プロヴァ  
ンシアルの手紙』に関連して 『社会学部紀要』第63号 1991年3月 筆者の発見した資料「年次報告  
書」の研究 pp.753—787.  
関西学院大学社会学部
38. *Les Annae Litterae Prouincia*  
*Franciae Ad annum Domini*  
1657. *Annual Studies* vol.40 1991年12月 パスカル・ジャンセニスト・イ  
エズ会研究  
今日消失されていると思われて  
いたのを、筆者が発見した資料  
の研究。特に、1656年度の年次  
報告書は学位論文(文学博士  
大阪大学)の中心的な部分を占  
めている。pp.15—26.  
関西学院大学
39. *Les Annae Litterae Prouincia*  
*Franciae Ad annum Christum*  
1656—concernant *Les Lettres*  
*Provinviales* de Blaise Pascal— *Etudes de Langue*  
*et Littérature*  
*Française* No. 60. 1992年3月 パスカル・ジャンセニスト・イ  
エズ会研究 pp. 9—17.  
Société Japonaise  
de Langue  
et  
Littérature  
Françaises
40. パスカルの『プロヴァンシア  
ルの手紙』(1656年) *GALLIA* 1992年3月 筆者の発見した資料「年次報告  
書」の研究  
pp.75—80.  
大阪大学フランス  
語フランス文学会
41. 阿部次郎兄弟らへの長姉から  
の書簡—キリスト教との関連  
— 『社会学部紀要』第65号 1992年3月 比較文化論研究 pp.193—202.  
関西学院大学
42. *Les Annae Litterae Prouincia*  
*Franciae Ad annum Christi*  
1658 *Annual Studies* vol.41 1992年12月 日本キリスト教史研究  
pp. 9—17.  
関西学院大学
43. *Les Annae Litterae Prouincia*  
*Franciae Ad annum Christi*  
1659 *Annual Studies* vol.42 1993年12月 日本キリスト教史研究  
pp.19—27.  
関西学院大学
44. ブレーズ・パスカル論(1—  
11) 「兄弟」No.415—425 1994年 パスカル研究  
1—12月  
基督教学徒兄弟団
45. ブレーズ・パスカル論(12—  
23) 「兄弟」No.426—437 1994年 パスカル研究  
1—12月  
基督教学徒兄弟団
46. ブレーズ・パスカル『プロヴァ  
ンシアルの手紙』の表現形式  
—手紙— 『社会学部紀要』第69号 1994年3月 パスカル研究  
関西学院大学社会学部
47. ブレーズ・パスカル『プロ  
ヴァンシアルの手紙』の表現  
形式—対話— 『社会学部紀要』第70号 1994年3月 パスカル研究  
pp.89—97.  
関西学院大学社会学部
48. La Déclaration de Foi sur la  
Prédestination par l'Eglise Ré-  
formée du Japon *Annual Studies* vol.44 1996年12月 日本キリスト教史研究  
pp.41—54.  
関西学院大学

49. パスカルと教育 『キリスト教教育  
研究所報告』第3号  
四国学院 1997年3月 パスカル研究
50. 迫害下のフランス改革派教会  
教会の歩み(一) —ナント勅  
令の発布から廃止まで— 『社会学部紀要』第76号  
関西学院大学社会学部 1997年3月 フランス・プロテスタント史研究  
pp. 133—143.
51. 迫害下のフランス改革派教会  
教会の歩み(二) —カミザール  
の戦いと荒野の教会— 『社会学部紀要』第77号  
関西学院大学社会学部 1997年3月 フランス・プロテスタント史研究  
pp. 41—50.
52. オギュスタン・ベルク 『社会学部紀要』第78号  
象徴的形態としての日本の風景(訳)  
関西学院大学社会学部 1997年10月 比較文化論  
pp. 23—28.
53. 研究ノート 女性と知識(1) 『社会学部紀要』第78号  
関西学院大学社会学部 1997年10月 文化論  
pp. 215—223.
54. 研究ノート 女性と知識(2) 『社会学部紀要』第81号  
関西学院大学社会学部 1998年10月 文化論  
pp. 211—218.
55. La Déclaration de Foi sur la  
Bible par l'Eglise Réformée  
du Japon *Humanities Review*  
vol. 3.  
関西学院大学 1999年3月 日本キリスト教史研究  
pp. 25—35.
56. オリヴィエ・ミエとその研究  
業績—(学位論文)  
『カルヴァンと言葉の力学：  
改革派レトリックの研究』— 『社会学部紀要』第82号  
関西学院大学社会学部 1999年3月 カルヴァン研究  
pp. 5—14.
57. オリヴィエ・ミエ「カルヴァ  
ンとその時代の文化」(共訳) 『社会学部紀要』第82号  
関西学院大学社会学部 1999年3月 カルヴァン研究  
pp. 15—23.
58. M. ルゲルン, M=R. ルゲル  
ン著『パスカルの「パンセ」』  
—《パンセ》とは何か—(共訳) 『社会学部紀要』第83号  
関西学院大学社会学部 1999年11月 パスカル研究  
pp. 149—169.
59. M. ルゲルン, M=R. ルゲル  
ン著『パスカルの「パンセ」』  
弁証論のテーマ(1)(共訳) 『社会学部紀要』第84号  
関西学院大学社会学部 2000年2月 パスカル研究  
pp. 221—240.
60. Déclaration de Foi sur le Saint  
Esprit et sur la Mission de  
L'Evangile - L'Eglise Réformée  
du Japon- *Humanities Review*  
vol. 4.  
Kwansei Gakuin  
University 2000年3月 日本キリスト教史研究  
pp. 11—16.
61. パスカルにおける恩寵論—展  
開と傾向— 『社会学部紀要』第85号  
関西学院大学社会学部 2000年3月 パスカル研究  
pp. 189—198.
62. パスカルの恩寵論の源泉 『社会学部紀要』第86号  
関西学院大学社会学部 2000年3月 パスカル研究  
pp. 169—184.
63. パスカルの『プロヴァンシア  
ルの手紙』  
—フランス・ジャーナリズム  
文学の傑作— 『社会学部紀要』第87号  
関西学院大学社会学部 2000年3月 パスカル研究  
pp. 123—134.
64. 『ユグノー詩編歌』から『フ  
ランス詩編歌へ』 『改革教会と音楽2』  
—『ジュネーヴ詩編歌』のル  
ネッサンス— エルピス 2000年4月 フランス・プロテスタント史研究  
pp. 25—31.



### Ⅲ. その他

#### Ⅲ-1 雑誌

1. 山辺に向けて我目をあぐ 関西学院千刈セミ 1988年10月  
 関西学院千刈セミナーハウ  
 ナーハウス  
 10周年記念誌 発行人 森川 甫  
 編集人 田添禮雄
2. テゼ新しい創造力の鼓動が 『クレセント』 4 1978年  
 世界の若者が集まってくる 関西学院  
 出会いと和解の丘—宗教と  
 芸術の綜合—
3. 世界の高等教育 『クレセント』 6 1980年3月  
 フランス 関西学院
4. 千刈セミナーハウス、サン 関西学院キリスト 1990年  
 ・シラン、ジョン・ウエス  
 レー 教教育研究室

#### Ⅲ-2 辞典項目

1. 新キリスト教辞典(分担執筆) いのちのことば社 1991年9月  
 ジャック・マリタン、エティ  
 エンヌ・ジルソン

#### Ⅲ-3. 書 評

1. ダーカン『世界説教史』 キリスト教文書センター 1996年8月  
 —17~18世紀、バロック時代  
 の説教

#### Ⅲ-4. 雑 誌

#### Ⅲ-5. 新聞記事

1. パリ大学国際都市 神戸新聞社 1966年
2. パリの日本研究に新風 読売新聞社 1975年4月  
 コレージュ・ド・フランス  
 「日本文明講座」が誕生
3. パリ・ソルボンヌ大学の名 神戸新聞社 1980年7月  
 誉博士授与式にみる—前田  
 陽一博士の業績—
4. カルチエ・ラタン—人物と 毎日新聞社 1991年9月  
 思想の国際交流—
5. 仏の日本研究発展に寄与 日本経済新聞社 1996年11月  
 —オギュスタン・ベルター  
 「風土性」に新たな視点—

## 森川甫教授記念号によせて

高 坂 健 次

「フランス文学、哲学のなかで、ブレーズ・パスカルは私にとっては、いわば初恋の人であった。」  
(森川甫先生の大著の「あとがき」より)

森川教授は、大阪外国語大学フランス語学科を卒業され、大阪大学大学院文学研究科修士課程を修了されたあと、同博士課程を経て、1963年4月に関西学院大学社会学部専任講師に就任されました。1968年に助教授、1975年に教授とられました。じつに定年で去られる今日まで38年間もの長い間、社会学部にあって教育と研究に携わってこられました。この間、兵庫県派遣海外留学生、フランス政府招聘給費留学生等として在外研究に従事されました。これまでのご功績を称え、ご尽力に感謝申し上げます。

ご専門は大別すればブレーズ・パスカルとジャン・カルヴァンの二人の信仰と思想の研究にありました。むろん、二人の間に両者をつなぐ糸がなかったわけではなく（二人ともアウグスティヌスを拠りどころとしていました）、その糸のもつれをほぐすこと自体も、森川先生の通奏テーマであったことは、先生の440ページに及ぶ大著「パスカル『プロヴァンシアルの手紙』」を読めば分かります。しかし、強いて言えば先生のご関心がパスカルに始まり、パスカルに終わったことは、先生の最終講義のタイトルが「我が師、我が友、ブレーズ・パスカル～宗教多元化時代におけるアポロジー構築を目指して～」であったことから窺えるでしょう。300年以上の開きのある思想家パスカルに対して、ついには精神的同時代人として、「我が友！」と語りかけることのできた、先生の傾倒ぶりと幸せぶりとを思わないではおれません。

パスカル研究の成果はパリの Klincksieck 社を含む数多くの出版社からの出版物として、また『フランス語フランス文学研究』（日本フランス語フランス文学会刊行）や『関西学院大学社会学部紀要』その他のさまざまな学会誌における学術論文として発表されております。多数の論文ならびに翻訳などの業績を合わせますとその数はじつに80点近くにも上ります。それらの業績に対する評価は高く、論文「パスカル『プロヴァンシアルの手紙』」に対しては、大阪大学より文学博士号が授与され、これは2000年にはさらに内容を充実させて、上にも触れた関西学院大学出版会より一冊の大著として刊行されました。執着、飽くなき追究心、熱意、粘り強さ、そういったものの結晶のみが見事な研究成果を収めうることの証左にもなっていて、門外漢をも飽きさせません。1993年には、財団法人国際日本研究所から「西谷啓治賞」が授与されました。

カルヴァン研究の関連では、編著『現代におけるカルヴァンとカルヴィニズム』（すぐ書房、1987）を、また本邦初訳『新約聖書注解 共観福音書』上（新教出版社、1984）も上梓されています。フランス・プロテスタント史の研究書である『フランス・プロテスタント 苦難と栄光の歩み—ユグノー戦争、ナント勅令、荒野の教会—』（日本基督改革派教会西部中会 聖恵授産所出版部、1999）も、本邦初の仕事であります。

国際交流の側面でのご功績も多大です。ご自身が再三フランスにわたられたことはすでに触れましたが、社会学部にジャン・メナール教授をはじめ、フィリップ・セリエ教授、テレーズ・ゴイエ教授らポール・ロワイヤル学会の参加者を関西学院に招聘されましたし、また山片蟠桃賞を受賞したオーギュスタン・ベルク氏（本学名誉博士）、カルヴァン研究の第一人者オリヴィエ・ミエ氏の招聘に際しても主導的な役割を果たされました。

教育面では、フランス語を担当されたのをはじめ、西洋文学、フランス哲学・思想講読演習、比較文化

論などの授業をもたれました。社会学部にあつては、教務副主任、学生主任、教務主任を、大学では全学選出の大学評議員を、学院においては院長補佐や千刈セミナーハウス館長をつとめることを通して貢献されました。学外にあつては、学校法人頌栄保育学院理事、財団法人国際日本研究所理事、学校法人四国学院キリスト教教育研究所運営委員、宗教法人神戸改革派神学校理事は今尚続けておられ、学内のみならず広くキリスト教主義教育に捧げてこられました。

私自身、社会学部の学生だったとき、森川先生にフランス語での「外国書講読」を教わったことがあります。テキストは、今から思えば当然のごとく、『パンセ』でした。今も、その時のテキストは残っています。一年間に読んでいただいたのは30ページになるかならないかでしたが、天と地、右と左はおろかフランス語さえも分からない学生相手に熱をこめて読んでくださったことにも今一度あらためて感謝申し上げます。